



ロハスフェスタでハワイと出会う。
～『111ハワイプロジェクト』を
知っていますか？～

日本の皆さんにHAWAIIが さらに愛されるために

一人の日本人がハワイ州政府観光局に企画を持ち込んでスタートした「111ハワイプロジェクト」。ハワイを愛する想いが、地元の企業や政府機関を動かして大きな流れを生み出している。発起人のクニ ヤマモトさんにお話をうかがった。



ハワイ州政府観光局や地元企業に企画を呼びかけ、現時点では約50もの企業・団体が参画し一緒に地域活性化に取り組んでいるという。ハワイ産のコーヒーやハーブティー、Tシャツ、ココナッツクラッカーまで商品もバラエティに富んでいる。

クニ ヤマモト さん (クラレンス・リー・デザイン 社長)
1973年、大阪府生まれ。陶芸家の父と顔彩の日本画の先生である母のもとで育つ。大阪芸術大学デザイン科卒業後、デザイン会社勤務を経て、2005年、クラレンス・リー・デザイン副社長兼アートディレクターとしてハワイに移住。2007年より同職。ヤマモトさんの着ているアロハシャツも111ブランドの商品。

「111は世界中からの観光客が訪れるリゾート地ですが、ハワイに長く住んで感じるのには、ハワイで暮らす人々やローカルビジネスにとって、非常に厳しい環境だということなんです。島国ということもあり、家族経営のような中小企業が非常に多く、実際にビジネスを立ち上げては潰れていく会社をこれまで数多く見てきました。もちろん大規模な開発もハワイ経済にとっては必要ですが、それと同時に、地元の中小企業が元気になる、住んでいる人が幸せにならなければ、ハワイの将来はどうなってしまうのか？という危機感を持つようになりました」とヤマモトさん。

ロハスフェスタにハワイブース登場!

こちらのページで紹介している商品は「111ハワイプロジェクト」のショッピングサイトで購入できます。ロハスフェスタ 2016秋会場内でもご紹介いたします。

【111ハワイプロジェクト公式HP】
<http://www.111-hawaii.com>
ショッピングサイトへはこちらからアクセス→



「ハワイには心をこめて作られた上質なハワイ産の商品がたくさんある。しかし、そのほとんどが中小企業で、知名度の低さから、多くの商品が埋もれてしまっているという。『その問題を解決するに、まずはメイドイン・ハワイそのもののブランド力を底上げする必要があるのではないかと考え、統ブランドでのブランディング支援をさせていただくアイデアが生まれました」とヤマモトさん。

「12年前にハワイに移住して、デザインの仕事に携わっているクニヤマモトさん。移住から10年経った頃、自身が代表を務めるデザイン会社がハワイ創業50年の節目を迎え、地元ハワイにデザイン力でも何か恩返しできないかと考えたことが、この『111ハワイプロジェクト』をスタートさせるきっかけだったという。

メイドインハワイをお土産に選んで 地域の活性化と環境文化保護に貢献



旅行者がお土産を買うことで、大好きなハワイの環境・文化保護に貢献できることがいばんの魅力。「この活動が目指す理由は、地域活性化として地元企業が一方通行で発信するのではなく、旅行者(消費者)も参加し、共にハッピーになる。そして、結果的に地域に貢献できるという仕組みだ」とヤマモトさん。

From CityLife こども食堂ムーブメントを広げよう ～尼崎市・『塚口みんなの食卓』訪問～

取材文 編集部 木下

今回は、尼崎市・塚口で開催している「塚口みんなの食卓」取材した。子どもに限らず、20歳未満の人とその家族も参加できる食堂として2016年7月よりスタート。10か月ほど準備期間を予定していたが、少しでも早く開催したいという意見が多く、急遽前倒しでスタート。会場となっている「尼崎市立地域総合センター上ノ島」は無料で場所の提供を受けており、センターと共催事業という形で運営している。



毎月第2・4金曜日の月2回の開催。ボランティアスタッフが16時頃から食事の準備を始め、食事の提供は18時～20時。食材の提供はほとんどなく、メニューを決めて寄付金から購入しているそう。取材にお伺いした9/9は4回目の開催。来場者は受付で名前を書いて食事場所で待ってもらい、料理ができ次第取りに来てもらうというシステム。料理ができると、待ってました!...と言わんばかりに子どもたちがやってきて、手際よく料理をピックアップ。嬉しそうに料理運び、ニコニコしながら料理を口いっぱいほおばっている子どもたちの姿が印象的だった。



この日のメニューは、なんちゃってパエリア・コールスロー・おみそ汁・グレープフルーツ。

開設に至った後も、ボランティアや寄付金の不足など多くの問題を抱えているこども食堂が多い。取材した「塚口みんなの食卓」も調理ボランティアが不足していて、参加者が増えていく一方、運営側の人手が足りないという深刻な状況。問題解決には地域の協力・理解を早急に深めていくことが必要だ。



取材協力・塚口みんなの食卓 ブログURL <http://kodomoshokudou.cocolog-nifty.com/blog/>
ボランティア募集担当:岩崎 070-6521-3263

A PROJECT IN 2016
SHOP
**出店
応援
プロジェクト**

Standard × Door × CityLife

Standard (空間プロデュース) × Door (ライフスタイルセレクトショップ) × CityLife (地域情報紙)

地域で愛され続けるお店と一緒に創りませんか?
【例えば】カフェを開業したいけど・・・物件はどうさがす?内装は?家具は?宣伝は?
このプロジェクトではオーナー様がお店のマネジメントに専念できるように、物件選びや施工の相談、インテリアのアドバイス、販促のお手伝いなどの業務をサポートします。まずはお気軽に無料相談にお越しください。

株式会社シティライフNEW
「出店応援プロジェクト」係
TEL/06-6338-0640 FAX/06-6368-3505
MAIL/info@citylife-new.com

詳しくはWEBページへ
出店応援 Search
<http://standard-coltd.com/sp/>

From CityLife 現役助産師による「じょさんしカフェ」 in ロハスカフェ 10/7(金)、21(金) 10時～11時半

助産師が中心となって、子育てに悩みをもつママたちを支援する「みのおママの学校」が「じょさんしカフェ」をロハスカフェで開催。「じょさんしカフェ」とは子育てママにとっての3大ニーズ、「癒し」「知識」「つながり」を提供するユニークな子育て支援サービス。病院では聞けないことや不安に思っていることなどを、現役助産師とお茶をしながら気軽に相談してみませんか。



日時: 10月7日(金)、21(金)
10時～11時半(じょさんしカフェ)、11時半～12時半(ランチ会、希望者のみ)
参加費: 1,200円 対象: 0歳～2歳児を子育て中のママ、6名さま
場所: ロハスカフェ (摂津市千里丘1-13-23)
※JR千里丘駅から徒歩5分。近くにコインパーキング有
申込方法: みのおママの学校ホームページ申込フォームよりお申し込みを。
<http://www.minomama.com/>
お子さんと参加OK。オムツ替えも可能・授乳時はケープなどお持ちください



大阪府 北おおさか信用金庫 元気な企業56社(予定)が集結!
大型就活イベント
「掴め!チャンス」企業は君を待っている!!

参加予約受付中!
Webで予約してね!
<http://osakajobfair.com/event/detail/1026.php>
詳しくはコチラ! OSAKAジョブフェア
※参加企業もコチラからご覧いただけます

対象 ● 2017年大学等卒業予定者 ● 卒業後3年までの方 ● 概ね35歳未満の若年求職者

参加無料
★入場自由★

最寄駅から会場まで
大阪モーターランド万博記念公園駅 徒歩 約200m 吹田市立サッカースタジアム
JR茨木駅から路線バス 徒歩 約240m 記念公園南口バス停

ガンバ大阪の新スタジアム
新設市立吹田サッカースタジアム 初の開催!!

就職合同説明会
出会うのビッグチャンス
お見逃しなく!

日時 10月26日水 10:00～16:00 (受付開始 9:30～) 会場 市立吹田サッカースタジアム VIP会場 (4階)

主催(予定) 北おおさか信用金庫・大阪府
共催(予定) 株式会社大阪彩都総合研究所 / 茨木市・吹田市・摂津市・高槻市・豊中市・島本町
協力(予定) OSAKAしごとフィールド・一般財団法人大阪労働協会
後援(予定) 近畿経済産業局・池田市・箕面市・池田商工会議所・茨木商工会議所 / 吹田商工会議所 / 高槻商工会議所 / 豊中商工会議所 / 箕面商工会議所 / 摂津市商工会 / 島本町商工会 (順不同)
本事業は、7市1町の連携のもと開催いたします。
※いただいた個人情報は、各主催団体、共催団体及び委託先に提供し、就職支援に関するサービスの提供や各種分析等の集約に利用されます。